

第1回 「(仮称)宇都宮市省エネルギー推進プラン」策定委員会議事録

1 日 時 平成19年8月9日(木) 午後2時00分～午後3時00分

2 場 所 市役所 9B会議室

3 出席者

委 員 岡委員長, 田中副委員長, 岩井委員, 田辺委員, 今井委員

オブザーバー 中森(NEDO技術開発機構)

事務局

環境部環境政策課: 小平部長, 斎藤次長, 石井課長, 森田総務担当主幹, 秋山補佐, 中山係長,
後藤総括主査, 鈴木主任, 小出主任主事

4 議 事

(1) 「(仮称)宇都宮市省エネルギー推進プラン」の策定について

(2) 推進プラン策定体制及び策定スケジュールについて

5 結 論

議事について, 委員全員が了承。

6 質疑等

別紙のとおり

【質疑等】

(1) 資料1及び資料2について

●岩井委員 共通認識として事前に確認しておきたいのですが、「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」では、宇都宮市としては、347万t-CO₂の温室効果ガス削減を目標にしている、その手法として、施設の省エネルギー改修をやっていこうということで、あくまでも温室効果ガス削減ということでもよろしいわけですね？そうなりますと選択肢としてESCO手法で、というのはあると思いますが、その評価なのですが、温室効果ガス削減効果というもので評価していくと、省エネルギー効果ですが、省エネルギーイコールCO₂削減、つまり相似形で変化しない可能性がありまして、やはりCO₂削減という指標で見っていくということを忘れない方がいいと思う。

「宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン」の12ページで定めた省エネルギー設備等の導入という項目については、省CO₂設備の導入という解釈でよろしいか？

○事務局 おっしゃるとおりです。いずれのプランも最終的な目標は温室効果ガスの削減であるので、ご理解いただきたい。

●岩井委員 次に2点目ですが、資料1のなかで、ESCO事業及び省エネルギー改修について調査するということですが、ESCO事業もたいへん重要であるが、ESCO事業に馴染まないけれども、省エネ改修でそれなりに効果がある施設についても漏れないような形でお願いしたい。予算措置であるとかそういった部分でESCO事業だけ実施するのではなく、省エネ改修も実施に向けて努力していくという共通認識でお願いしたい。

○事務局 ただいまのご指摘につきましては、今回の調査では287施設から、100施設、それから30施設と絞っていくわけですが、ESCO事業として馴染むということと、やはりエネルギー使用量が大きい施設ということになっていくと思われるが、先般、栃木県においても同様の調査において、施設のランク付けを行っているところですが、栃木県に比べると規模が小さい施設が多いので、30施設の中でも、ESCO事業に馴染む施設が一部、あるいは複数施設での組み合わせでということになるかと思われます。もちろん今後の調査での話しになりますが、ご指摘のとおり、ESCO事業の対象施設にならなかったものにつきましても、来年度策定を予定している実行計画の中でも、ESCO事業と併せて、省エネルギー改修施設についても、何年間かの中で実施に向けて考えていくという予定でおりますので、ご理解いただきたい。

●岩井委員 最近、色々な方とお話をする中で、従来は省エネルギーの経済効果重視で、改修や投資を判断するということがあったが、最近は、コストがかかっても、環境に対する目標を掲げたものを達成するために、昔ではやらないような改修もやらざるを得ない状況になっている。民間がそういう状況であるので、目標達成に向けては、E S C O事業者が費用対効果の面で、苦しい状況にあると実現しなくなってくるので、目標達成という部分で照らし合わせていくと、理解を得た上で予算化していくなどの対応が必要になってくると思う。

●岡委員長 市がやるということになると、税金を使うという事になるが、その辺はどうですか？

○事務局 現在、本庁舎においてE S C O事業を導入しており、国の補助金制度も活用しているが、残りの部分については、市の税金が使われているところなので、どのくらいまで、というところは今後の話ですが、現時点では、特に問題があるとは考えていない。

●NEDO 先ほどの議論の中で、省エネルギーなのか、CO₂なのかというところですが、NEDOの補助制度からいくと、あくまでも「省エネルギー」にスポットライトを当てての補助制度であるので、環境省であればCO₂なのかも知れませんが、経産省は、原油換算でお願いしたいということです。ですので、この策定委員会では、原油換算での議論をお願いいたします。その結果、環境負荷の低い省エネルギー改修に繋がれば、と考えるところです。またE S C O事業については、宇都宮市が導入を検討するというので、補助の申請をされているので、その部分は、外さないでいただきたい。ただ、E S C O事業のみだと「省エネルギー」の範囲が狭くなってしまうので、たとえば民間資金を活用するとか、幅広い視点で議論していただきたい。
宇都宮市において次のステップに進む上で、必ず重要になってくる。

●岡委員長 民間資金を活用すると、おっしゃったのは、E S C O事業でのことでしょうか？

●NEDO 宇都宮市さんと議論はしていないが、私自身からすると、宇都宮市さんくらいの大きさになると、民間をリードしていく位の行政機関だと思っている。その中で市の設備だけの省エネで終わってしまっただけではいけない。市域全体に普及していくための足がかりとして、今回のビジョンを策定されるかと思いますので、民間活力というか、民需というか、そういう部分も付言して頂ければというところです。

●岡委員長 他に何かございますか？

- NEDO まとめ方については、後で事務局と相談させていただきたいが、あまりNEDOの補助の制約とかを考えずに、宇都宮市のためには何が一番良いのか？という次元で議論いただければと思っている。
- 岡委員長 資料2の方では何かございますか？資料以外の事でも何かございましたら、ご意見をお願いします。
- 田中副委員長 市の施設については、どのような施設があるのか？
- 事務局 対象の287施設については、事務庁舎として、地区市民センターや3月に合併した旧上河内、河内町の役場、現在は地域自治センターという名称ですが、そういった施設、それから小・中学校、展示施設という事で文化会館や美術館、後は動力系施設という事で、清掃工場や下水処理場などがある。
- 岡委員長 参考資料の本庁舎のESCO事業の概要が出ているが、光熱水削減額が約2,500万でESCOサービス料が約1,000万で約4割を占めている。サービス料で無くなってしまうようなところがある。小さい施設などは、どうなのでしょう？10施設くらいでやるということもあるのでしょうか。
- 事務局 グループ化という事で、複数施設をまとめて、ESCO事業導入という考え方もある。
- 岡委員長 他に何かありますか？無ければ今回はこの辺で終了したいと思います。事務局からは何かありますか？
- 事務局 スケジュールのところでも触れましたが、次回の委員会は10月頃を予定しております。議題は省エネ診断の対象施設の選定についてご協議いただきたいと考えているところです。よろしく願いいたします。
- 岡委員長 以上で第1回「(仮称)宇都宮市省エネルギー推進プラン」策定委員会を終了いたします。